

## 「奈良応援せんと委員会」を設立

今年の3月11日に発生した東日本大震災により、被災地においては、地域の人々の誇りであり、アイデンティティーの基盤でもあり、また、国民共有の貴重な財産でもある文化財の多くが被害を受けました。このため、現在、奈良文化財研究所も参加している被災文化財等救援委員会等が中心となり、官民あがての文化財レスキュー事業(被災文化財の保全、救出、応急措置等をおこなうもの)がおこなわれています。

しかしながら、文化財を守るための活動には多大な経費が必要となるため、4月には、文化庁長官により、これらの事業に対する募金等の支援・協力が呼びかけられました。

このような状況の中、文化財の宝庫であり、文化財の保護に理解と関心の深い「奈良」だからこそ何かできることはないだろうか、また、昨年の平城遷都1300年祭をはじめとして、これまでに被災地域の皆様にはもちろんのこと、全国の文化財や歴史を愛する皆様からいただいた「奈良」へのご支援やご厚情に対して恩返しできることはないだろうかと考え、奈良県内の文化財、教育等の関係機関・団体、企業等が連携し「奈良応援せんと委員会」を設立しました。

委員会では、各所での募金活動をはじめ、チャリティーコンサートの開催等、それぞれが有する力を「奈良の力」として結集することで、文化財レスキュー事業等への支援をおこなうこととしています。

8月31日現在、約1,000万円の支援金が集まっており、今後、このような活動が全国に展開されるためのさきがけとなることを期待しています。

(研究支援推進部 田中 康成)



チャリティーコンサート「音燈華」での募金活動のようす